

令和7年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要 林産部門

創意工夫による高品質な苗木の安定供給で地域を支える

○氏名又は名称 吉田 正平

○所 在 地 岩手県気仙郡住田町

○出 品 財 技術・ほ場（苗ほ）

○受賞理由

・地域の概要

住田町は、岩手県南東部に位置し、森林面積は88.8%を占める。同町を含む気仙地域は古くから「気仙スギ」の産地として知られ、「森林林業日本一の町」を目指している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

受賞者は、平成9年に吉田樹苗の経営を引き継いだ。當時需要見込みより多めの生産計画を作成し、トラブルが生じても需要に応えられる経営を心掛けている。

代々受け継いできた育苗技術に加え、県内外の苗木生産者を訪問して技術力の向上に努め、県内生産者として初めてスギの挿し穂による苗木生産に成功した。また、コンテナ苗木の生産に県内で初めて着手し、生産技術を確立させるなど県内コンテナ苗生産の第一人者として知られるようになった。積極的な設備投資、機械導入、さらに独自の技術開発により省力化と生産拡大を両立し、令和6年度はスギ及びカラマツのコンテナ苗を計50万本生産している。

・受賞者の特色

（1）生産性や品質向上のための創意工夫

コンテナ苗木生産では従来2人で行っていた作業を1人で行える培土圧入機、コンテナ苗木や培地を運搬するための乗用運搬車やフォークリフトなど、機械の改良や導入により生産性の向上を図っている。

また、苗木の移植のために自ら開発し意匠登録を取得した移植器により、幼苗の根がまっすぐに移植できるようになり、根が曲がった状態で移植することによる植栽後の成長不良等を改善している。

（2）作業員の労働環境の改善

令和6年6月に作業拠点施設を建設し、建物1階にはエアコン、水洗トイレ、水分補給のための冷蔵庫を備えた作業員休憩所を設けている。また、作業員の希望に応じた勤務時間を設定するなど働きやすい勤務環境を整えるとともに、県の平均賃金を上回る賃金を支給し地域の雇用機会の創出に寄与している。

・普及性と今後の発展方向

後継者である息子への技術継承にとどまらず、県内外からの視察を積極的に受け入れ、技術・知識の共有や指導を行っている。

また、高齢化が進み労働力不足が懸念される中、宿泊可能な作業員用施設を整備し、遠隔地出身者を雇用できる環境の整備を目指している。今後、引き続き作業員の幸福と生産性向上の両立を追求するとともに、高品質な苗木の安定供給に尽力し、地域に根ざした苗木づくりに取り組んでいく。